



多治見高校生の活躍

H28.4.20 付の中日新聞に本校演劇部の活動が紹介されました。

七色の声で紙芝居熱演

多治見高生 子どもに読み聞かせ



子どもたちに紙芝居を読み聞かせる演劇部員—多治見市子ども情報センターで

多治見高校の演劇部員が紙芝居を園児と小学生に読み聞かせる会が、多治見市常盤町の市子ども情報センターであった。声を自在に操る部員たちの熱演が、子どもたちを引き込んだ。

同センターが昨年度から始めた高校生と地域住民の交流事業「たじみアグレッション部」の一環。市内の高校の部活動を校外へPRしている。この日は、女子部員三人が担当。題材は、

食事を家族で楽しく食べる内容の「おちゃわんかぞく」（白泉社）で、同センターが選んだ。副部長の二年桜井美有香さん（む）は「お客さんが子どもたちなのは新鮮だった。反応がかわいくて、次回も楽しみです」と笑った。

（篠塚辰徳）

同校演劇部による紙芝居は二十一日午後四時からもある。